



小児科オンライン

<https://syounika.jp>



産婦人科オンライン

<https://obstetrics.jp>



代表者紹介



橋本直也

CEO,小児科医, 公衆衛生修士

- 2009年 日本大学医学部卒
- 2011年 聖路加国際病院にて初期研修修了
- 2014年 国立成育医療研究センターにて小児科研修修了
- 2016年 東京大学大学院 公共健康医学専攻修士課程卒業
- 2015年- 都内クリニック勤務、株式会社Kids Public設立



重見大介

産婦人科医, 公衆衛生修士

- 2010年 日本医科大学卒
- 2012年 日本赤十字社医療センターにて初期研修修了
- 2015年 日本医科大学と関連病院にて産婦人科研修修了
- 2018年 東京大学大学院 公共健康医学専攻修士課程卒業
- 2018年- 臨床勤務、大学院（博士課程）と並行して
株式会社Kids Publicの産婦人科を統括



ある虐待事例との出会い

3歳女兒

右大腿骨骨折

母親による殴打によって受傷

背景：母子家庭、発達障害あり



病院で待っているだけでは
健康は守れない



社会背景



妊娠・出産・子育ての孤立



虐待、産後うつ



軽症受診

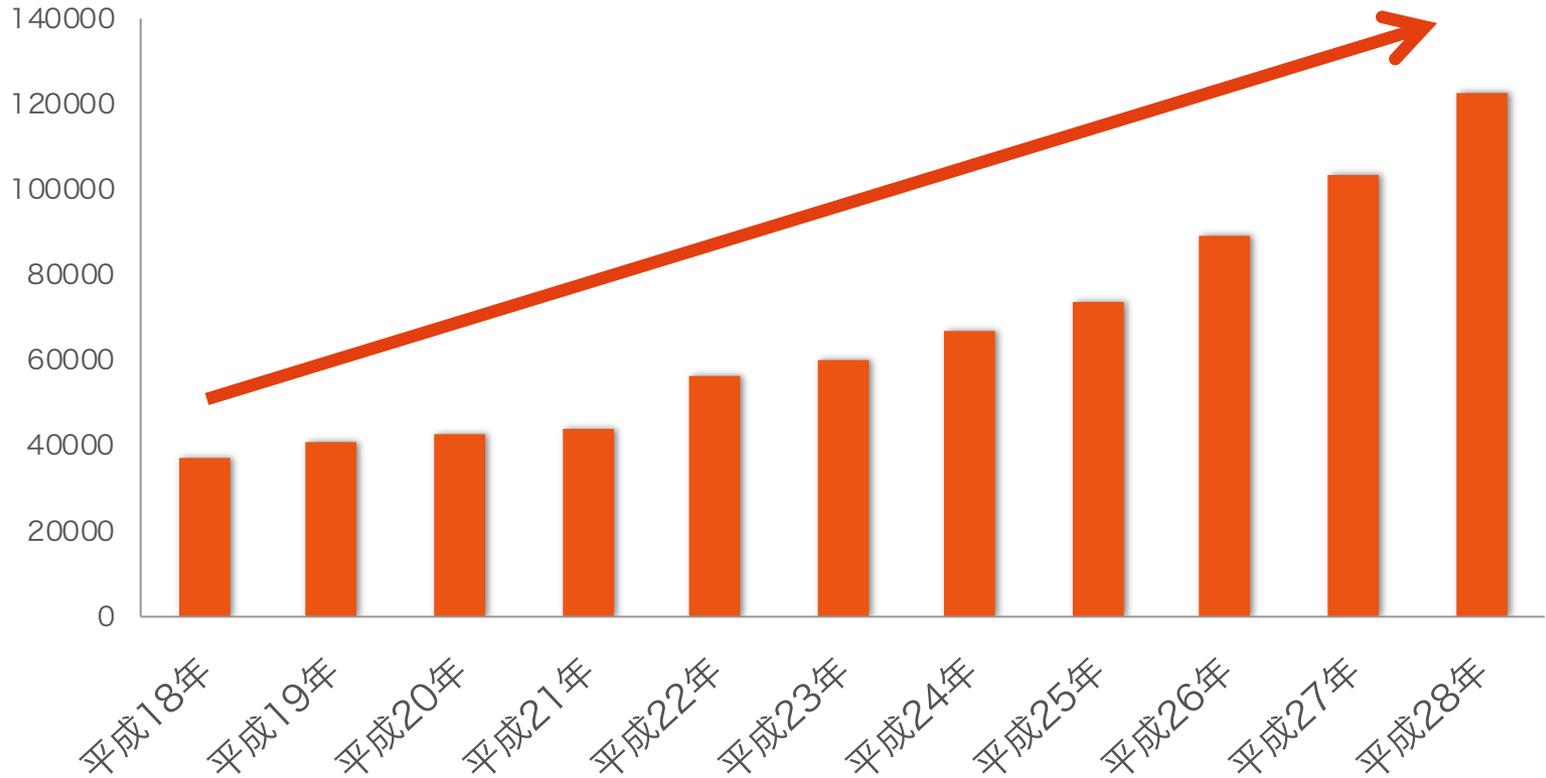


ネット情報に翻弄



子育ての孤立

児童相談所での児童虐待相談対応件数



虐待は10年で3倍に増加している



妊産婦の孤立

妊産婦死亡原因のうち、自殺が1位

- 産後うつは、出産した母親の10人に1人の割合で発生
- 産後うつのおと社会復帰できない母親もいる
- 母親の健診が産後1ヶ月で終了し専門家との繋がりがなくなる

辛く孤立した母親は
必ずしも病院に現れない

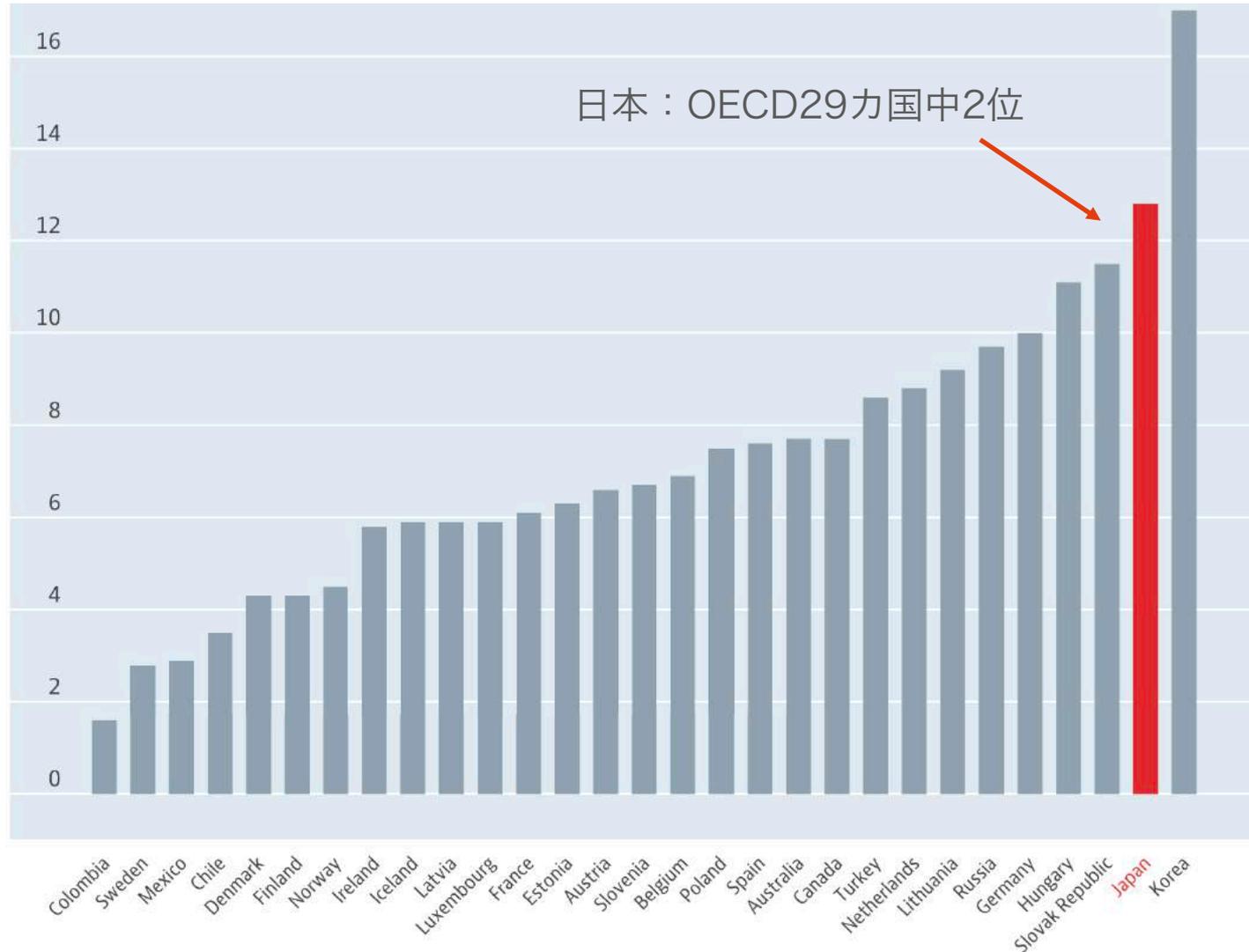


日本経済新聞2018年9月5日



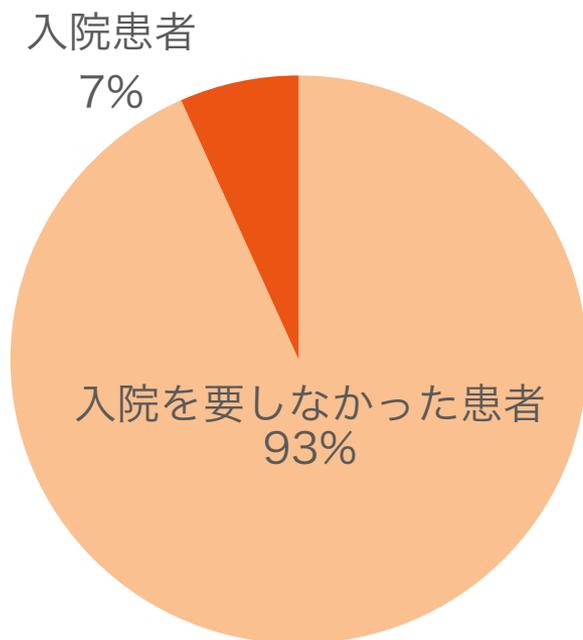
外来受診が多い日本

国民一人当たりの年間受診回数

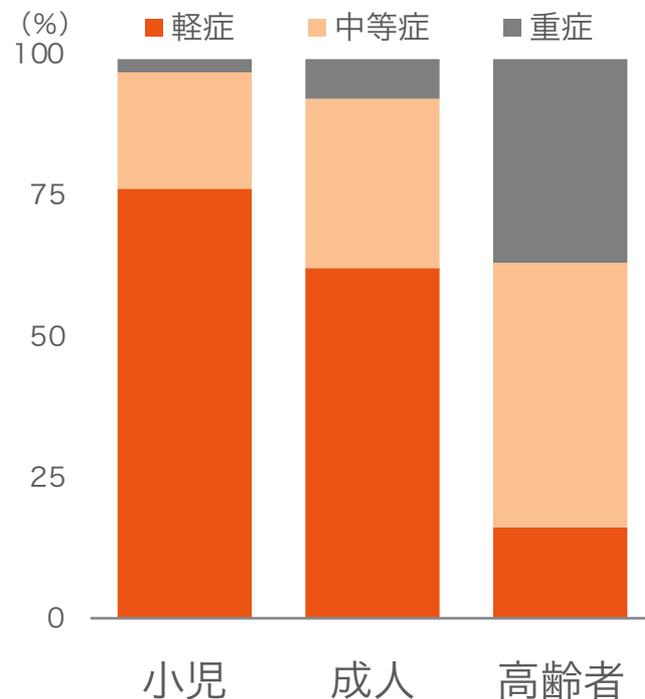


軽症者で溢れる小児科

小児二次救急施設における患者内訳
(平成24年)



救急搬送の重症度分類



外来受診の90%以上、救急車の75%が軽症



産婦人科/小児科オンライン

日本における**病院前**の医療の充実を目指す

不安



専門家が
リアルタイム
対応



平日 18-22時



相談イメージ



産婦人科医/助産師/小児科医による対応

産婦人科医/助産師30名



産科医



助産師



助産師



産科医



助産師



助産師



産科医



産科医



助産師

小児科医50名



発達行動



アレルギー



新生児



感染症



小児救急



腎臓



発達障害、不登校



小児がん



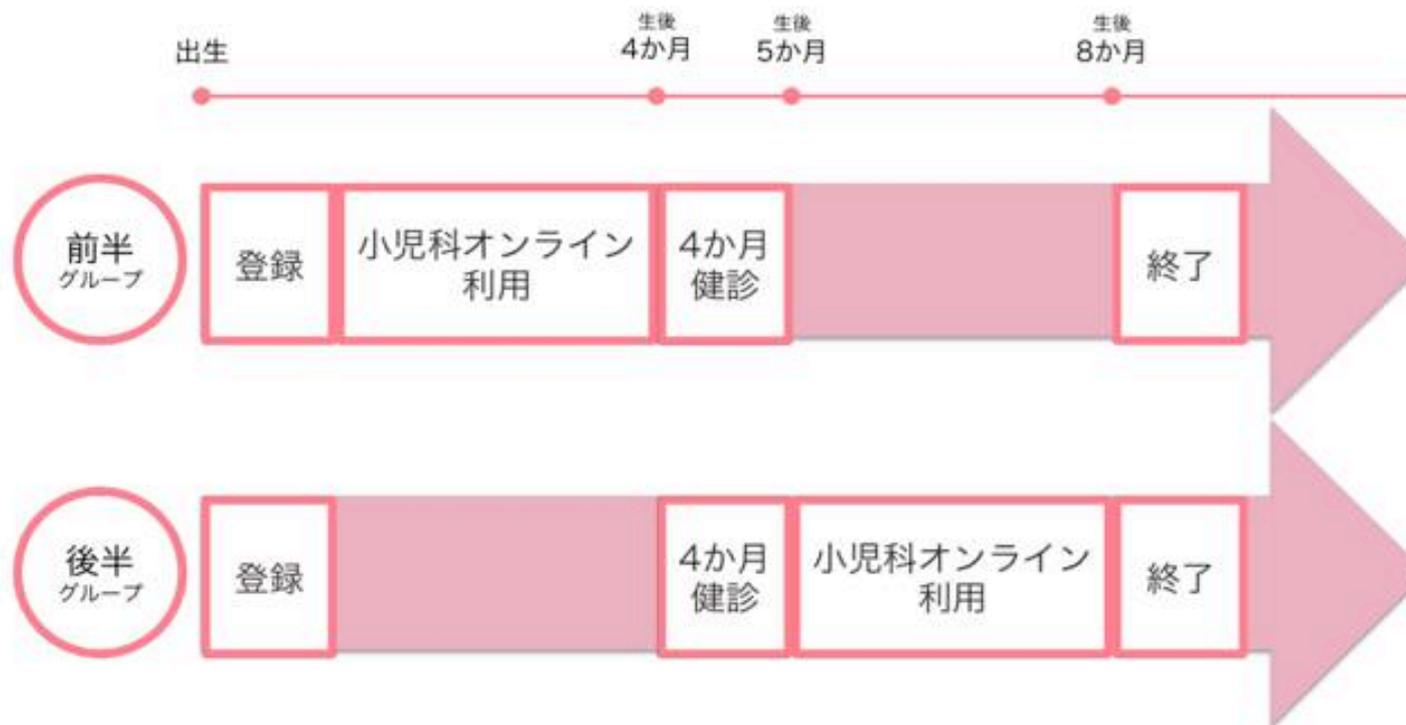
母乳育児



2017年

横浜市における取り組み

栄区母子小児医療相談研究 (SIMPLE Study) の流れ



- 国立成育医療研究センター政策科学研究部、小児科オンライン、横浜市栄区による産学官連携の取り組み
- お母さんの不安解消とお子さんのより健やかな成長のために、産後早期からスマートフォン等で小児科医との相談を行う臨床研究, SIMPLE Study (シンプル・スタディ)」を2017年11月1日より開始



2018年

横浜市における取り組み

●結果1 参加率96%, 利用率81%

- ・ 2018年10月～2019年1月まで港北区在住の0歳第一子を育てる家庭向けの育児支援サービスとして提供
- ・ 横浜市港北区で活動する認定NPO法人のもと、事業説明会を実施
- ・ 参加した0歳第一子を育てる保護者のうち、96%(70/73名)が本事業に参加を希望
- ・ 参加した70名のうち、事業を実施した4ヶ月間で全体の81%にあたる57名が相談を利用し、のべ236件の相談が寄せられた



事業説明会の様子



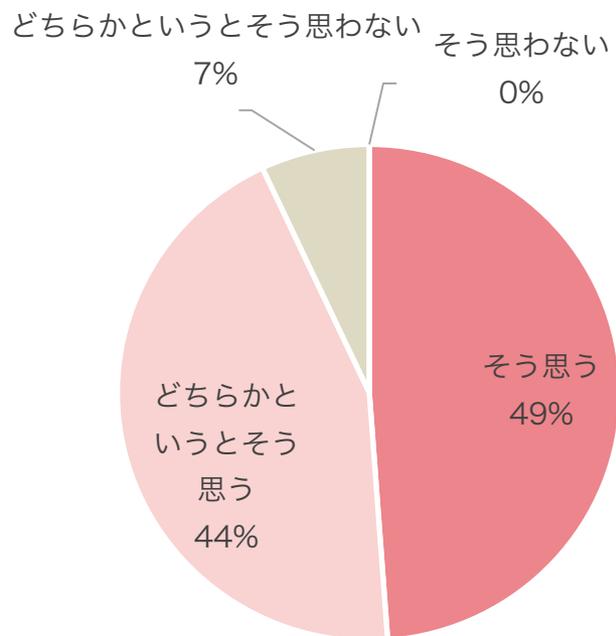
2018年

横浜市における取り組み

●結果2 子育ての不安軽減

—93%が「子育ての不安が減った」

小児科オンライン・小児科オンライン看護師相談
の利用により、子育ての不安が減った



事業終了時に行なった質問紙調査にて、93%の利用者が子育て不安が減ったと回答しました。

(N=43, 回収率 75%(43/57名))



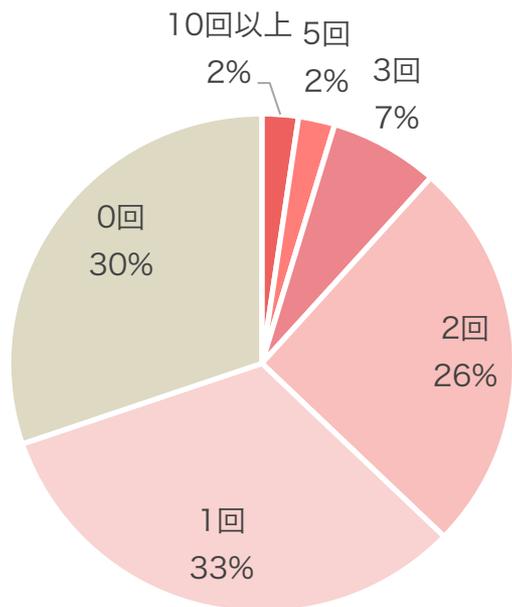
2018年

横浜市における取り組み

●結果3 軽症受診の軽減

—70%が「病院に行かなくてすんだ」と回答

小児科オンライン・小児科オンライン看護師
相談の利用により、病院またはクリニックを
受診せずに済んだことは何回ありましたか。



利用者の70%が4ヶ月間の事業期間中に「病院またはクリニックを受診せずに済んだことがあった」と回答しました。

(N=43, 回収率 75%(43/57名))



2019年

横浜市における取り組み

これまで、もともと小児科オンラインの利用者の半分が0歳児を育てる保護者であり、一番ニーズのある時期として、0歳児にフォーカスを当て取り組みを行ってきました。その中で、妊娠期から切れ目なくサポートできればより効果的なのではという仮説が生まれました。現在、母親の不安軽減のため妊娠中からオンラインでサポートを開始し、母親の不安軽減に貢献しうるかを港北区にて検証しています。



後期健診



出産



3ヶ月



学会発表・研究



これまでの学会発表・研究

口頭発表

1. 小児科専門医によるインターネット小児医療相談事業に関する後方視的検討. 第120回日本小児科学会学術集会, 東京, 2017.4.16
2. 保育園グループに対する小児遠隔医療相談事業導入の後方視的検討. 第6回日本小児診療多職種研究会, 沖縄, 2017.11.3
3. 小児科医によるインターネット小児遠隔健康医療相談利用後の受診行動に関する検討. 第28回日本外来小児科学会年次集会, 東京, 2018.8.25
4. 遠隔健康医療相談「小児科/産婦人科オンライン」これまでの取り組みのご紹介. 岩手県立病院医学会医療情報分科会, 岩手, 2018.10.29
5. 【招待講演】遠隔健康医療相談『小児科オンライン』『産婦人科オンライン』-妊娠・子育てにおいて誰も孤立しない社会を目指して-. 第22回日本遠隔医療学会学術大会, 福岡, 2018.11.10
6. 妊産婦を対象とした遠隔健康医療相談システムの開発と試験運用の報告. 第388回東京産科婦人科学会例会, 東京, 2018.12.15

現在進行中の前向き研究

1. 「自治体における母の産後不安と児の皮膚状態に対する小児遠隔医療相談の有用性に関するランダム化比較試験（栄区母子小児医療相談研究）：Sakae Infants and Mothers with Pediatric teleconsultation study, SIMPLE Study（シンプル・スタディ）」を2017年11月1日より開始



対象児童特性、接続手段、相談内容の内訳 (N=105)

			N	%				N	%
対象児童特性	性別	男児	37	35	受診判断	有り	39	37	
		女児	40	38		受診指示	3	3	
		欠損	28	27		無し	66	63	
	年齢	0歳	49	47	相談内容	皮膚	21	20	
		1-5歳	44	42		消化器	18	17	
		6歳以上	9	9		呼吸器	13	12	
		欠損	3	3		発熱	10	10	
接続手段	チャット	41	39	成長・発達	4	4			
	テレビ電話	19	18	栄養	4	4			
	音声電話	39	37	外傷	3	3			
	欠損	6	6	その他	32	30			



説明に対する理解

	N	%
十分理解できた	82	96
まあまあ理解できた	3	4
あまり理解できなかった	0	0
全く理解できなかった	0	0

※利用後アンケートの集計

- 利用後翌日に利用者にメールをし、匿名で回収
- 回収率：85/105 81%



利用者の声

写真・動画のメリット

「気軽に相談がラインでできるのは本当にうれしい。写真などでやり取りできるので電話より信頼できる。」

(1歳男児の母, LINE)

「テレビ電話を利用してだったので、様子を見てもらえてよかったです。」

(0歳男児の母, LINEテレビ電話)

遠隔であることのメリット

「子供を病院に連れていかずに、小児科の先生に相談出来てとても安心しました。この時期インフルエンザ、胃腸炎、溶連菌が流行っているので、小児科に連れていくだけで他の病気をもらってきたしまったり・・・以下省略」

(8歳男児の母, LINE電話)



利用者の声

ICT活用による新たなコミュニケーションチャンネル

「自宅にいながら先生に相談できるので心持ち楽にお話を聞くことができました！」

(0歳男児の母, LINE電話)

「本日はありがとうございました。普段のかかりつけ医の先生には聞きにくいことも質問でき、また分かりやすく詳しく解説していただき、凄く安心しました。」

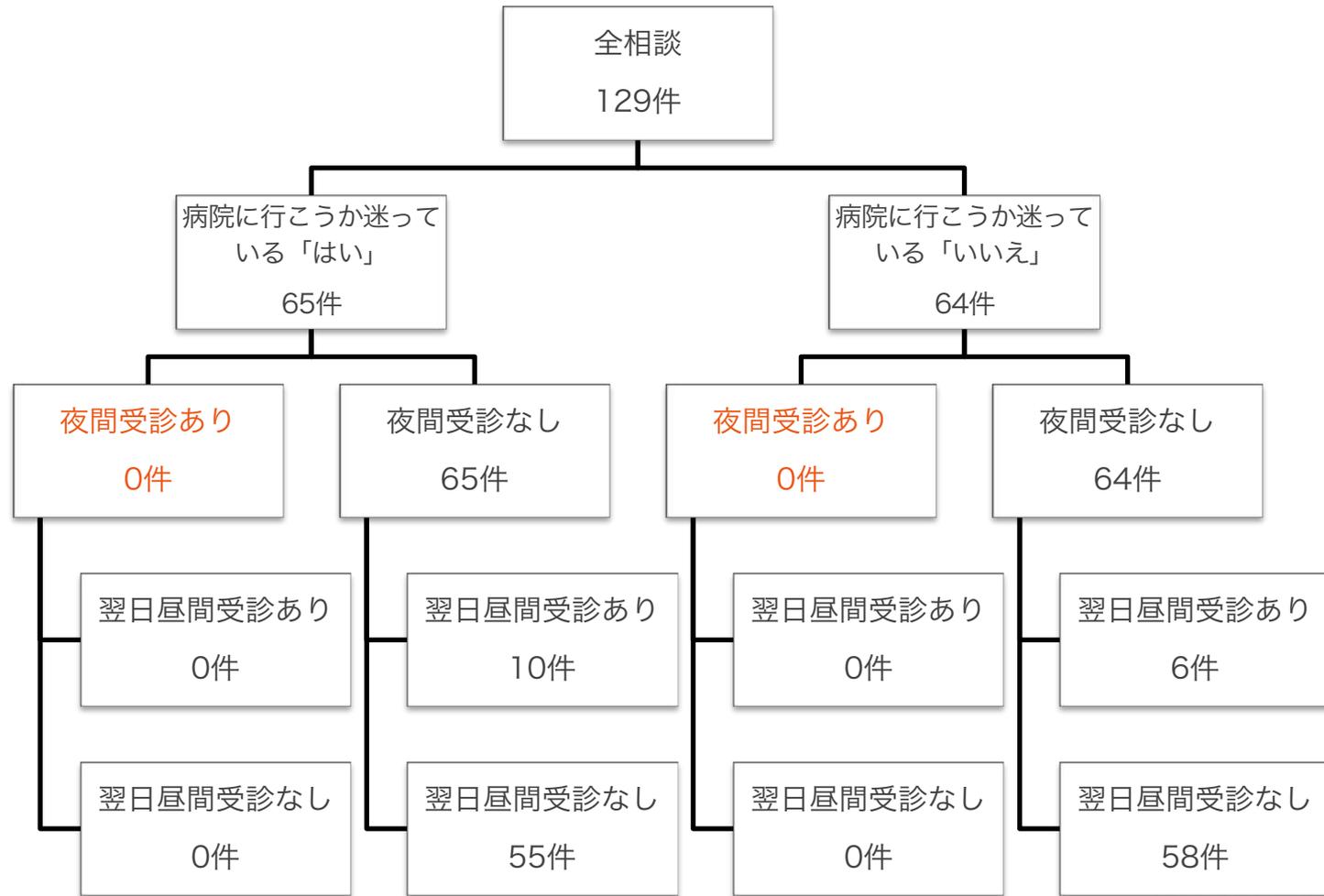
(0歳男児の母, LINE)

「日中1人で子育てをしていると、こういう風に簡単に相談できる場所があるというのは大変心強い。不安感が和らいだ。」

(1歳女児の母, LINE)



利用後の受診行動（レセプトとの突合）



※評価対象の129件全てを突合
※利用後24時間以内の緊急入院例は0件



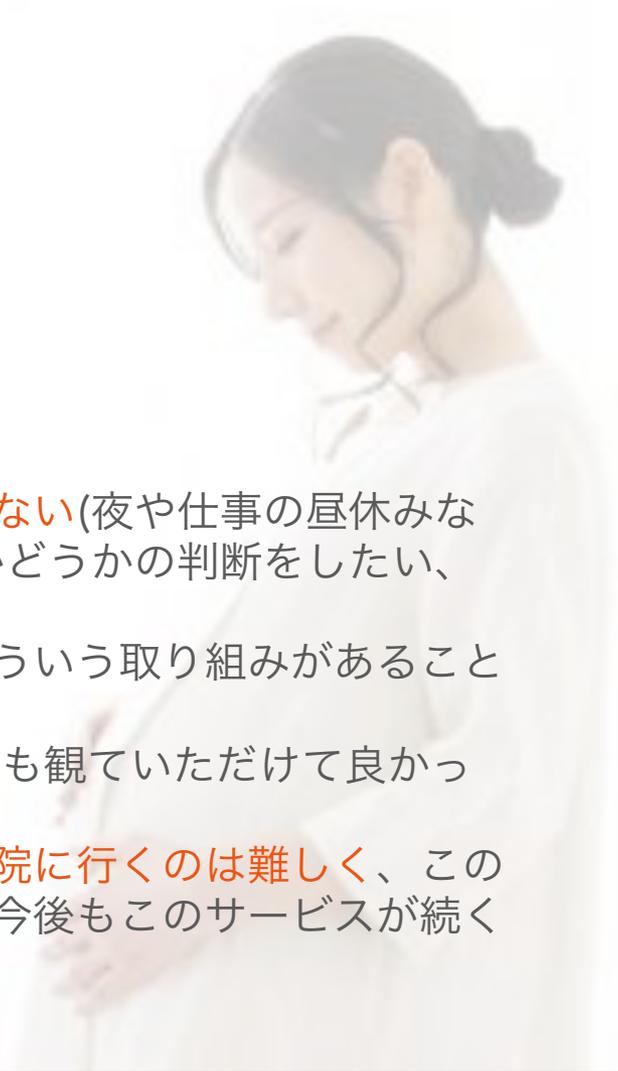
利用者の声（産婦人科オンライン）

● 利用後アンケート （回答率65%）

- 満足度 満足できた（5段階中:4-5）： **98%**
- 利便性 便利だと思う（5段階中:4-5）： **98%**

● 利用者の声

- 丁寧にご回答いただきました。簡単には医療機関に行けない(夜や仕事の昼休みなど)ときに、それを押してでも緊急受診する必要があるかどうかの判断をしたい、という時一番助かると思いました。
- 耳が不自由な妊婦さんにとって、チャットでも可能なこういう取り組みがあることは本当にありがたいです。
- 少し緊張しましたが、LINEだと手軽に相談出来て、動画も観ていただけで良かったです。
- フルタイムで働いているので気になったときにすぐに病院に行くのは難しく、このサービスがあるととても心強いと感じました。そして、今後もこのサービスが続くよう、応援しています。



Kids Public

Mission

子どもたちの生涯にわたる健康を守り、
その向上に貢献する

Vision

生まれ来る全ての子どもたちに届く
サービスを作る

Value

生活圏において成育医療をより身近なものとする
子育てにおいて誰も孤立しない社会をつくる
産前産後の切れ目ないケアを重視する
成育医療の質の向上に貢献する
成育医療におけるエビデンスの創出を行う



会社概要

会社名	株式会社Kids Public
所在地	〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-8-14 神田新宮嶋ビル4階
設立	2015年 12月
代表者名	橋本 直也 (小児科医)
事業内容	インターネットを介した成育医療
従業員数	65名 (2018年10月現在)
受賞歴	2016.8 Open Network Lab 12 th Batch Demodayオーディエンス賞 2016.11 TechCrunch Tokyo 2016 「スタートアップバトル」優勝(114社中) 2017.3 東京都から有限責任監査法人トーマツが委託を受けて運営する「ASAC Batch3 Demo Day」優勝 2017.9 第11回キッズデザイン賞にて経済産業大臣賞を受賞 2017.11 第6回健康寿命をのばそう！アワードにて厚生労働大臣賞を受賞
問い合わせ先	contact@syounika.jp

